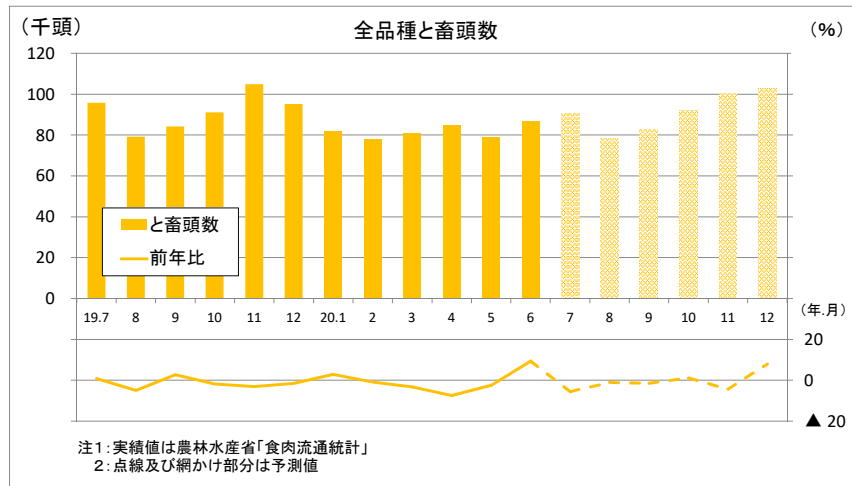
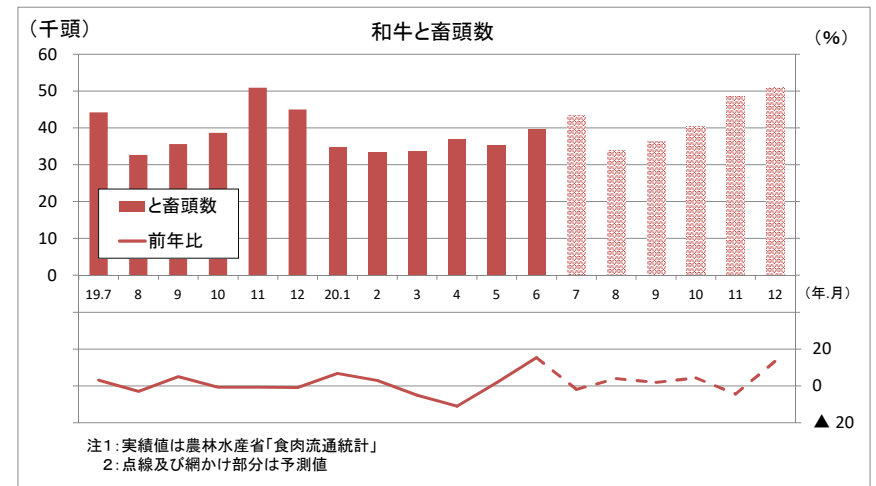


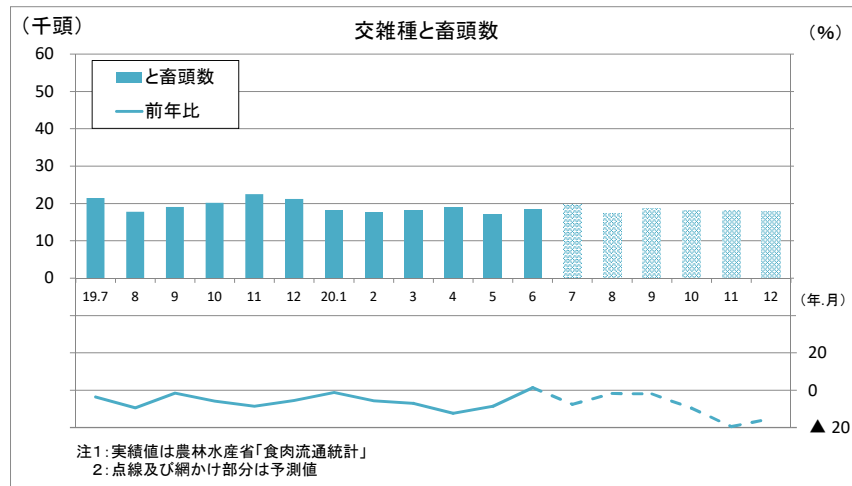
牛のと畜頭数の見込みについて(2020年7月～2020年12月)



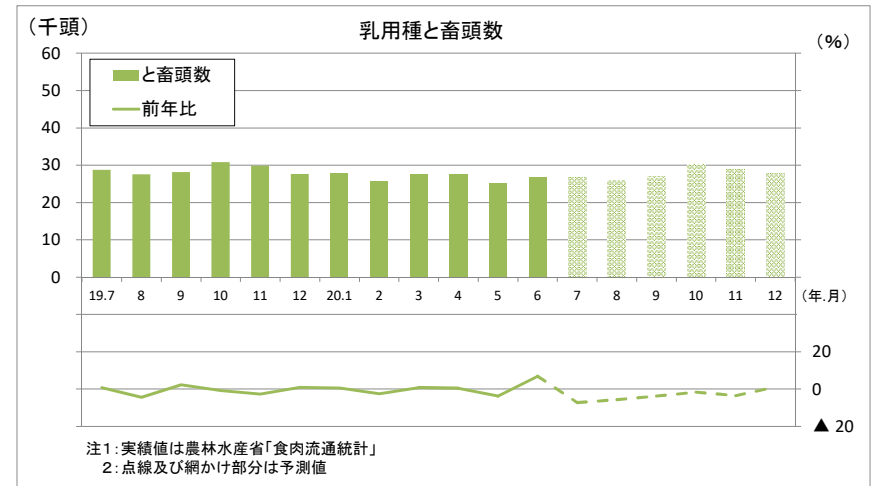
・2020年7月～2020年12月のと畜頭数は、交雑種および乳用種の減少が見込まれるものの、和牛の増加が見込まれることから、合計では前年同期比約1%減と見込む。



・和牛については、和牛の繁殖雌牛の増頭に加え、乳用牛への和牛受精卵移植技術の活用などにより、回復傾向となっていることから、2020年7月～2020年12月のと畜頭数は、前年同期比約3%増と見込む。



・交雑種については、乳用種雌牛の減少に加え、乳用牛への受精卵移植技術の活用などによる和子牛の生産拡大や、乳用後継牛を確保する動きがあることから、2020年7月～2020年12月のと畜頭数は、前年同期比約10%減と見込む。



・乳用種については、乳用種雌牛の減少に加え、乳用牛への受精卵移植技術の活用などによる和子牛の生産拡大や、性別別精液の活用などによる乳用後継牛を確保する動きにより、肉用の乳牛去勢の減少が続くと見込まれることから、2020年7月～2020年12月のと畜頭数は、前年同期比約4%減と見込む。